

希学園 第406回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第406回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年3月8日実施)	https://vimeo.com/1171252449/785d66a158

1

(1) 6 0 9 0	(2) 1 7 9	(3) 5 6 3	(4) 6 9 0 3
(5) 1 4 8 4	(6) 7 8 6	(7) 2 7 8 8	(8) 7 0
(9) $\frac{19}{61}$	(10) ⑦ 1 (L)	⑧ 9 5 4 (mL)	(11) 5 4 6 (m)
(12) 2 5	(13) 3 1 5 (円)	((10)完答)	

2

(1) 1	(2) 7 0	(3) 3 8 (番目)
-------	---------	--------------

3

(1) 1 6 個	(2) 8 0 個	(3) 3 0 個
-----------	-----------	-----------

4

(1) 3 cm	(2) 9 cm	(3) 8 cm
----------	----------	----------

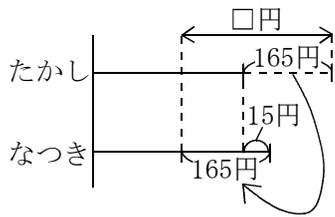
5

(1) 7 回	(2) 3 2	(3) 4 個
---------	---------	---------

(配点) 各4点×25

1

- (6) $\square + 857 = 1643$
 $\square = 1643 - 857 = \underline{786}$
- (7) $3004 - \square = 216$
 $\square = 3004 - 216 = \underline{2788}$
- (8) $\square \times 40 = 2800$
 $\square = 2800 \div 40 = \underline{70}$
- (10) $2854\text{mL} - 9\text{dL} = 2\text{L}854\text{mL} - 900\text{mL} = \underline{1\text{L}954\text{mL}}$
- (11) $2\text{km}60\text{m} + \square\text{m} = 2606\text{m}$
 $\square\text{m} = 2606\text{m} - 2060\text{m} = \underline{546\text{m}}$
- (12) C×Cの答えが2けたで一の位がCだから、Cとして考えられるのは5か6。
 $5 \times 5 = 25$ のとき、 $A \times B = 52$ となるがそのような1けたの整数A、Bはない。
 $6 \times 6 = 36$ のとき、 $A \times B = 63$ となるA、Bは7と9。
 よってA、B、C、Dの合計は、 $7 + 9 + 6 + 3 = \underline{25}$
 (A、Bは9と7でもよいが、4つの数字の合計は同じ。)
- (13) 2人の持っているお金のようすを線分図で表すと右の図のようになる。
 はじめに持っていたお金は、たかしくんの方が、 $165 \times 2 - 15 = \underline{315}$ (円)多い。



2

- (1) 「3, 2, 1, 2」の4個のくり返し。
 $35 \div 4 = 8$ (セット) 残り 3 (個) $\rightarrow 3, 2, 1$
- (2) 1セットの合計は、 $3 + 2 + 1 + 2 = 8$
 $8 \times 8 + 3 + 2 + 1 = \underline{70}$
- (3) $77 \div 8 = 9$ (セット) 残り $\frac{5}{3+2}$
 $4 \times 9 + 2 = \underline{38}$ (番目)

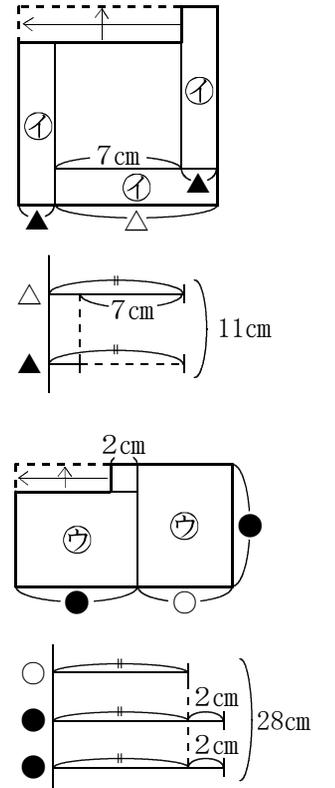
3

- (1) みかんとりんごを1個ずつ買うと、 $120 + 180 = 300$ (円)
 これを1セットと考えると、 $2400 \div 300 = 8$ (セット)
 みかんとりんごはあわせて、 $2 \times 8 = \underline{16}$ (個) 買った。
- (2) みかんとりんごを1個ずつ買うと代金のちがいは、 $180 - 120 = 60$ (円)
 これを1セットと考えると、 $2400 \div 60 = 40$ (セット)
 みかんとりんごはあわせて、 $2 \times 40 = \underline{80}$ (個) 買った。

- (3) もしみかんとりんごを同じ個数ずつ買っていたら、 $120 \times 10 = 1200$ (円) みかんの代金の方が少なかった。
 $1200 \div 60 = 20$ (セット) \rightarrow りんごの個数は20個。
 みかんの個数は、 $20 + 10 = \underline{30}$ (個)

4

- (1) $6 \times 4 + \square \times 4 = 36$ (cm)
 $\square = (36 - 24) \div 4 = \underline{3}$ (cm)
- (2) 右の図のように、図形をふくらませて考える。ふくらませた後の図形は正方形なので、 $44 \div 4 = 11$ (cm) $\cdots \triangle + \blacktriangle$
 また、7cmは \triangle と \blacktriangle のちがいになっているから、線分図を使って考えると、
 $\triangle = (11 + 7) \div 2 = \underline{9}$ (cm)
- (3) 右の図のように、図形をふくらませて考える。ふくらませた後の図形は長方形なので、 $56 \div 2 = 28$ (cm) $\cdots \bigcirc + \bullet + \bullet$
 また、2cmは \bigcirc と \bullet のちがいになっているから、線分図を使って考えると、
 $\bigcirc = (28 - 2 \times 2) \div 3 = \underline{8}$ (cm)



5

- (1) $3 \rightarrow 3 \times 3 + 1 = 10 \rightarrow 10 \div 2 = 5$
 5からは、問題文にあるようにあと5回のそうさで1になる。
 $2 + 5 = \underline{7}$ (回)
- (2) 1から順番にもどっていく。もどるときの計算は、 $\div 2$ の逆算は $\times 2$ なので特に制限はないが「3倍して1をたす」の逆算は「1をひいて3でわる」なので、できるときとできないときがあることに注意。
 下の図のように調べると、5回のそうさではじめて1になるもうひとつの整数は32。
 $1 \xrightarrow{\times 2} 2 \xrightarrow{\times 2} 4 \xrightarrow{\times 2} 8 \xrightarrow{\times 2} 16 \xrightarrow{\times 2} 32$
 $(32 - 1) \div 3 = 5$
- (3) (1)より、3のときのそうさの回数は7回。(2)で調べた続きを考える。7回のそうさではじめて1になる整数は、下の図より4個。
 $1 \xrightarrow{\times 2} 2 \xrightarrow{\times 2} 4 \xrightarrow{\times 2} 8 \xrightarrow{\times 2} 16 \xrightarrow{\times 2} 32 \xrightarrow{\times 2} 64 \xrightarrow{\times 2} 128$
 $(128 - 1) \div 3 = 21$
 $(21 - 1) \div 3 = 5 \rightarrow 10 \rightarrow 20$
 $(20 - 1) \div 3 = 3$